

平成26年度当初予算案

景気回復・成長予算



富岡製糸場と絹産業遺産群
世界遺産へ

平成26年2月4日(火)

群馬県

平成26年度群馬県当初予算(案)

総額 6,815億8,700万円 +2.3%

(地方財政計画 +1.8%)

- ・景気回復の動きを、県内隅々に行き渡らせ、群馬県が将来にわたって持続的に発展していけるよう、『景気回復・成長予算』を編成。
- ・総合計画『はばたけ群馬プラン』の基本目標を積極的に推進

基本
目
標

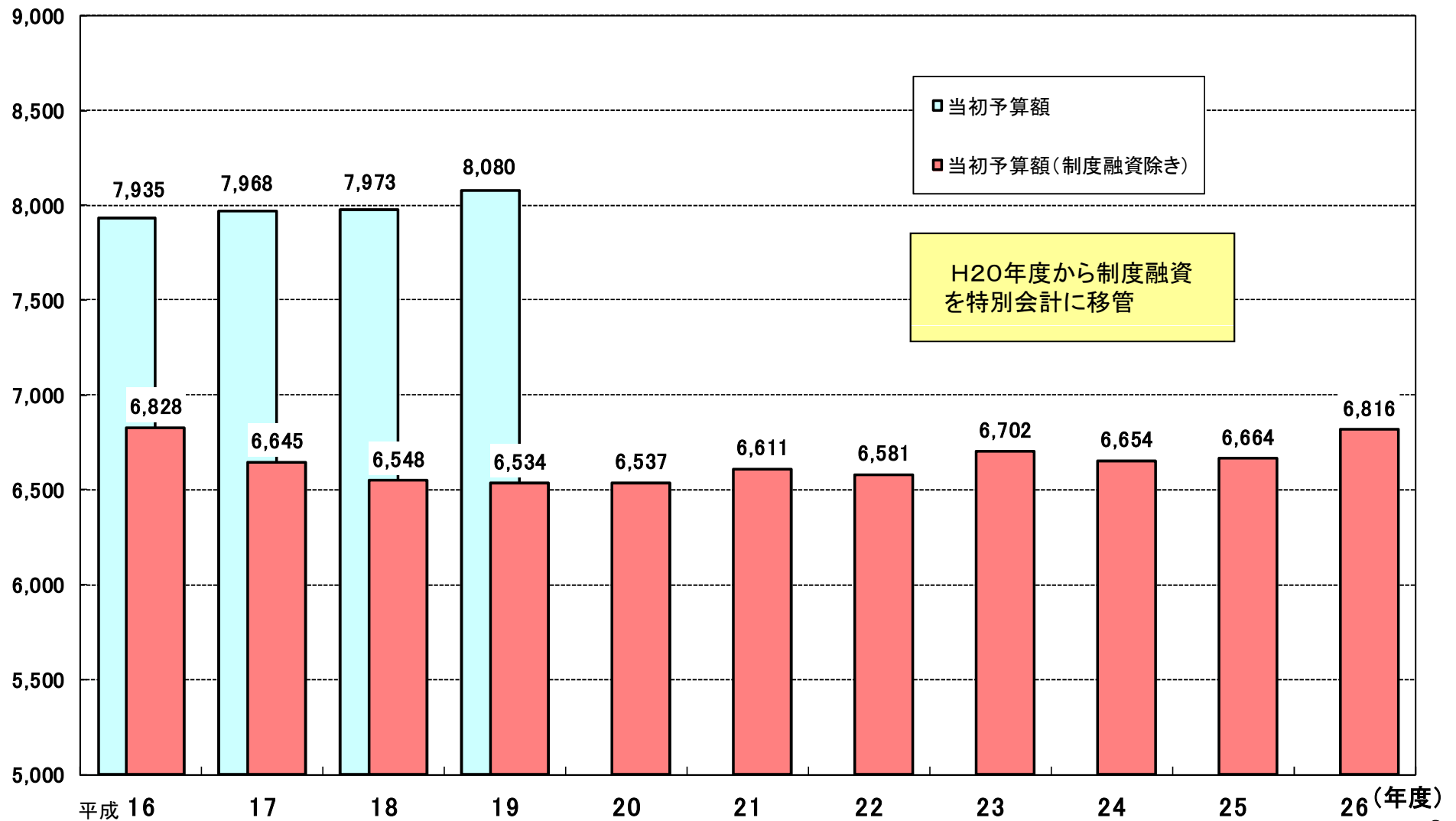
1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

3 産業活力の向上・社会基盤づくり

当初予算額の推移

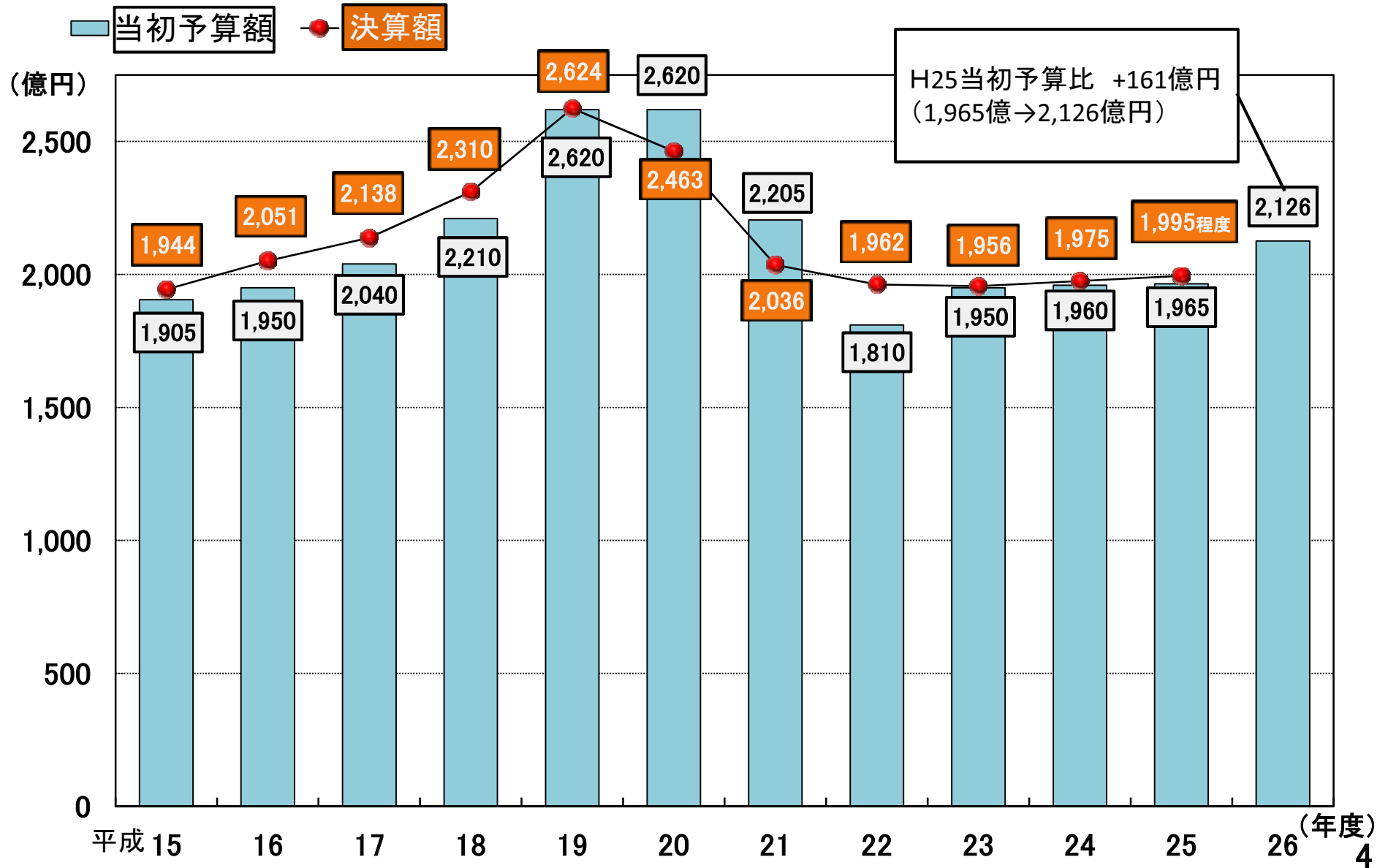
(億円)



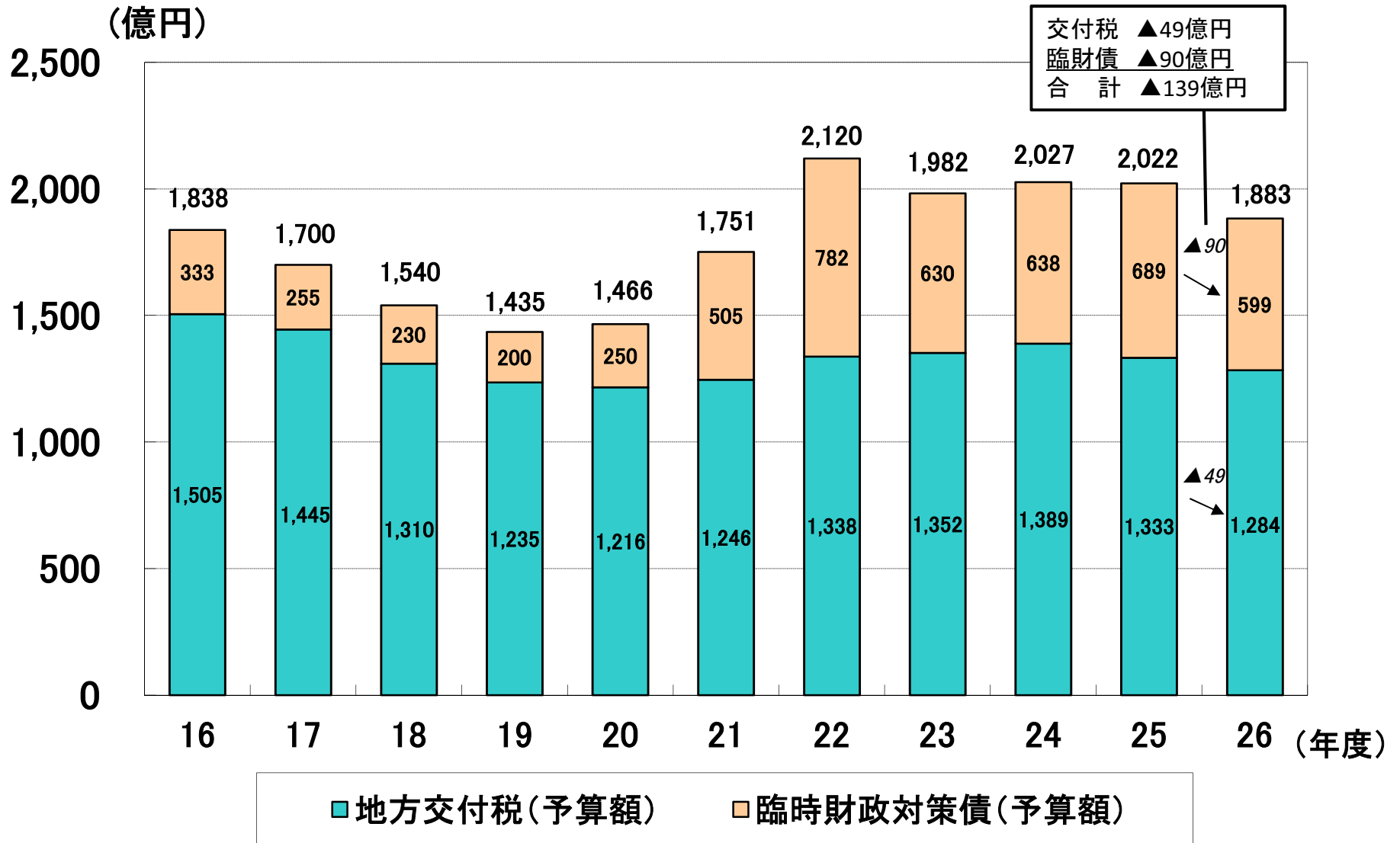
群馬県の主な財源の状況

	H24当初	H25当初	対前年度		H26当初	対前年度	
			増減額	増減率		増減額	増減率
県 税	1,960 億円	1,965 億円	+ 5 億円	+ 0.3 %	2,126 億円	+ 161 億円	+ 8.2 %
地方譲与税	291 億円	282 億円	▲ 9 億円	▲ 3.1 %	361 億円	+ 79 億円	+ 28.0 %
地方交付税	1,389 億円	1,333 億円	▲ 56 億円	▲ 4.0 %	1,284 億円	▲ 49 億円	▲ 3.7 %
県 債	988 億円	1,059 億円	+ 71 億円	+ 7.2 %	998 億円	▲ 61 億円	▲ 5.8 %
うち 臨時財政対策 債	638 億円	689 億円	+ 51 億円	+ 8.0 %	599 億円	▲ 90 億円	▲ 13.1 %
うち 通常債	350 億円	370 億円	+ 20 億円	+ 5.7 %	399 億円	+ 29 億円	+ 7.8 %
基金繰入金 (財調・減債・福祉)	301 億円	260 億円	▲ 41 億円	▲ 13.6 %	210 億円	▲ 50 億円	▲ 19.2 %
経済危機対策 関連基金繰入金	163 億円	191 億円	+ 28 億円	+ 17.0 %	157 億円	▲ 34 億円	▲ 17.4 %

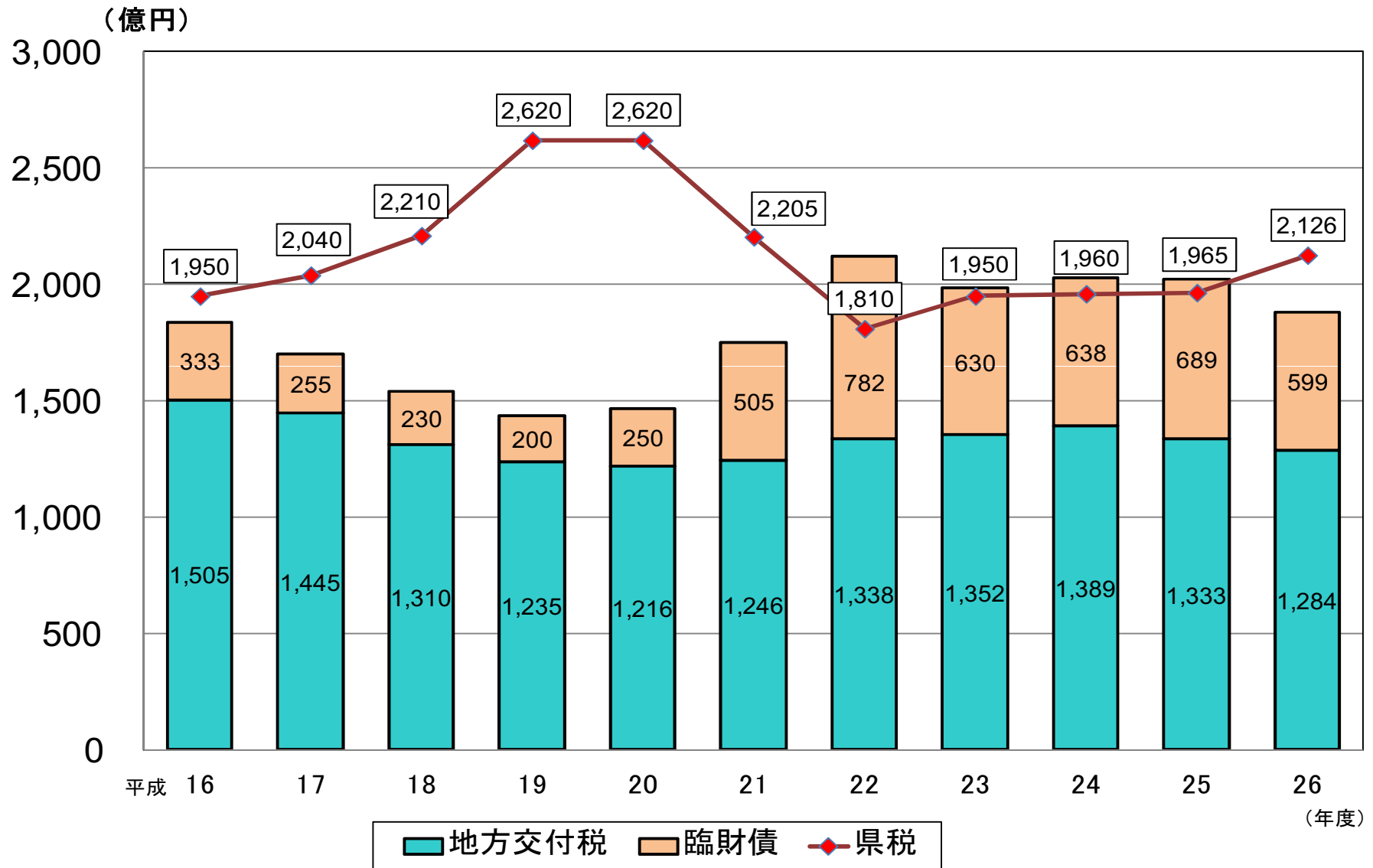
県税の推移



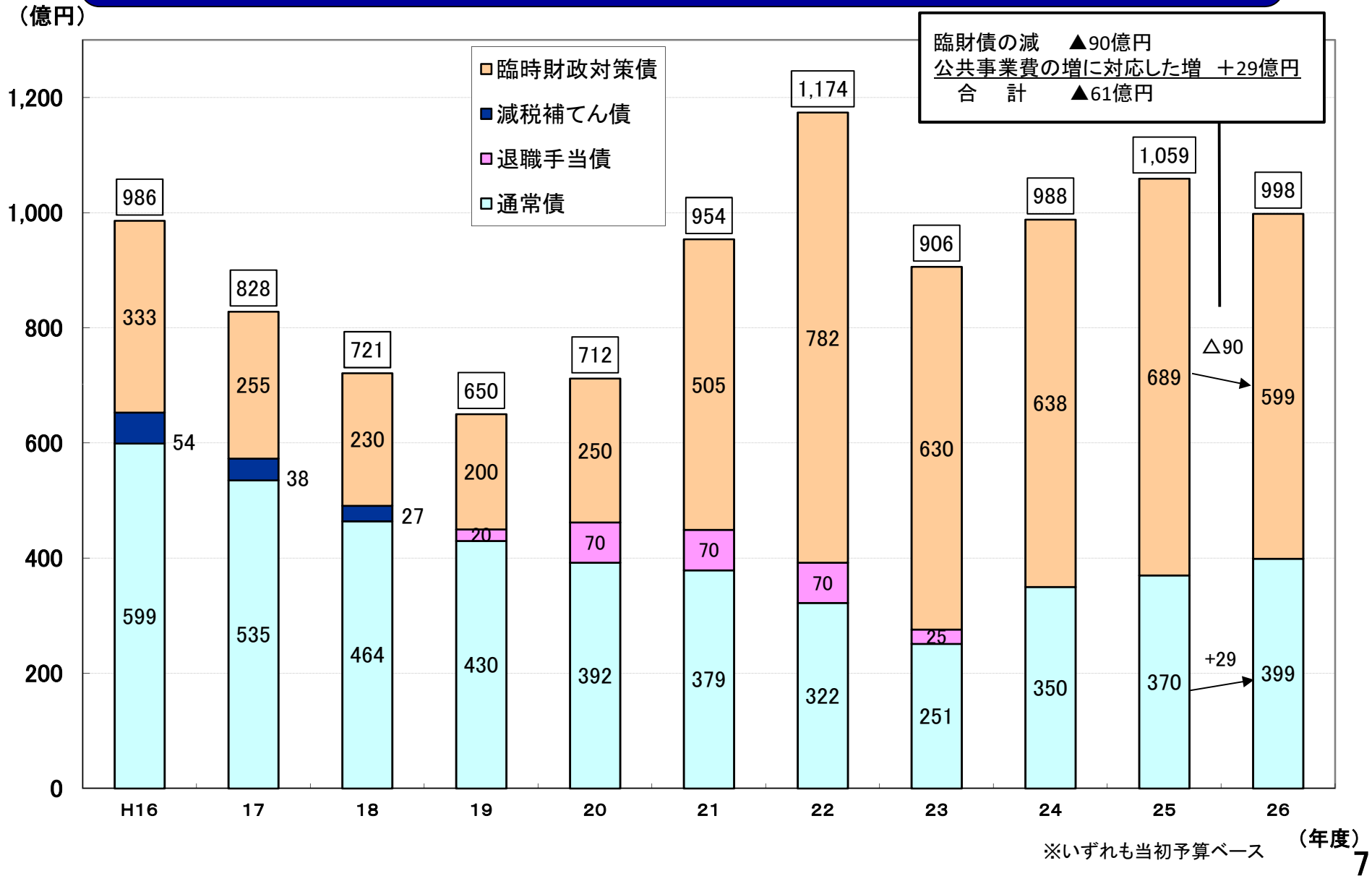
地方交付税等の推移



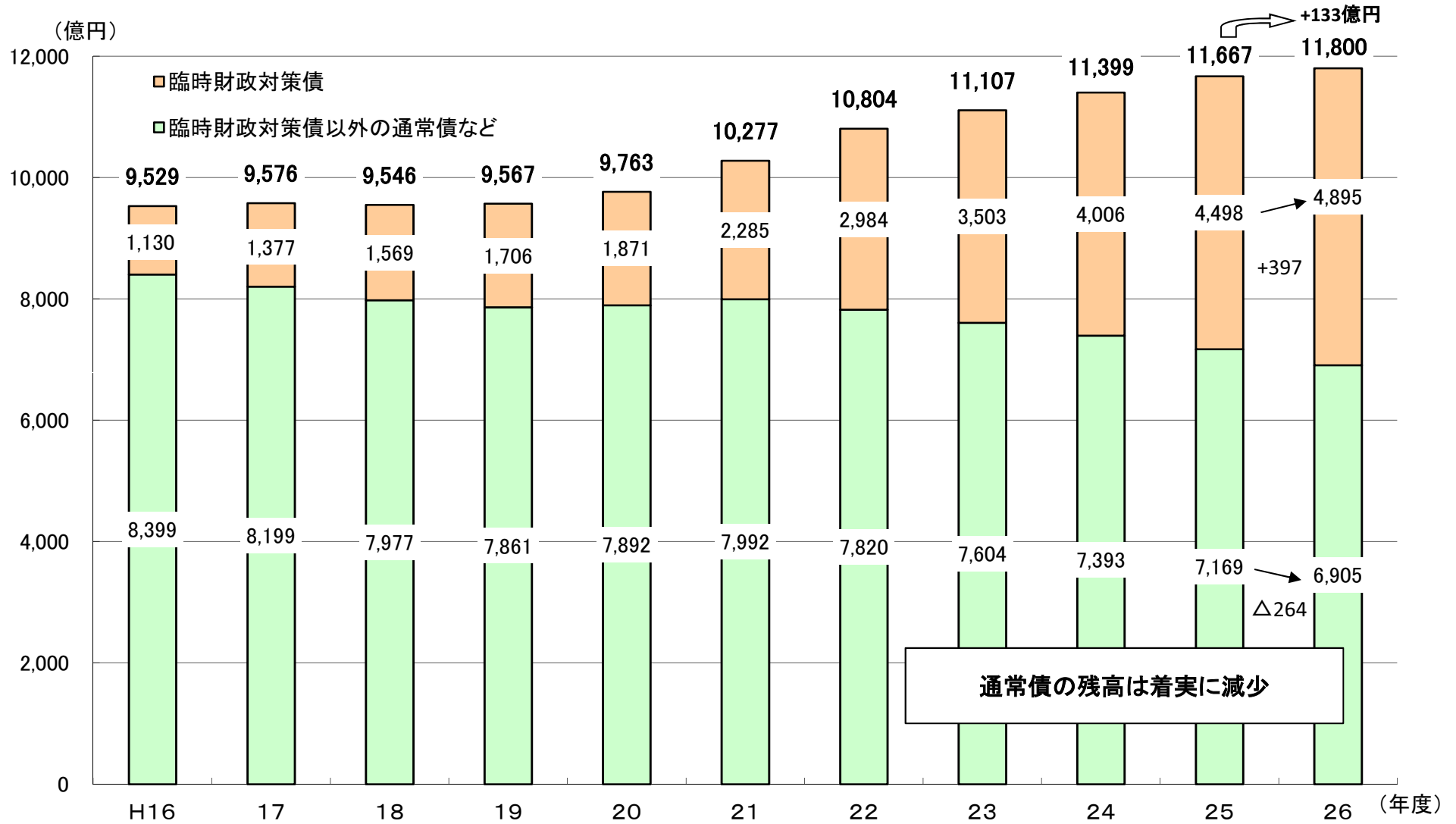
県税と地方交付税等の推移



県債予算額の推移



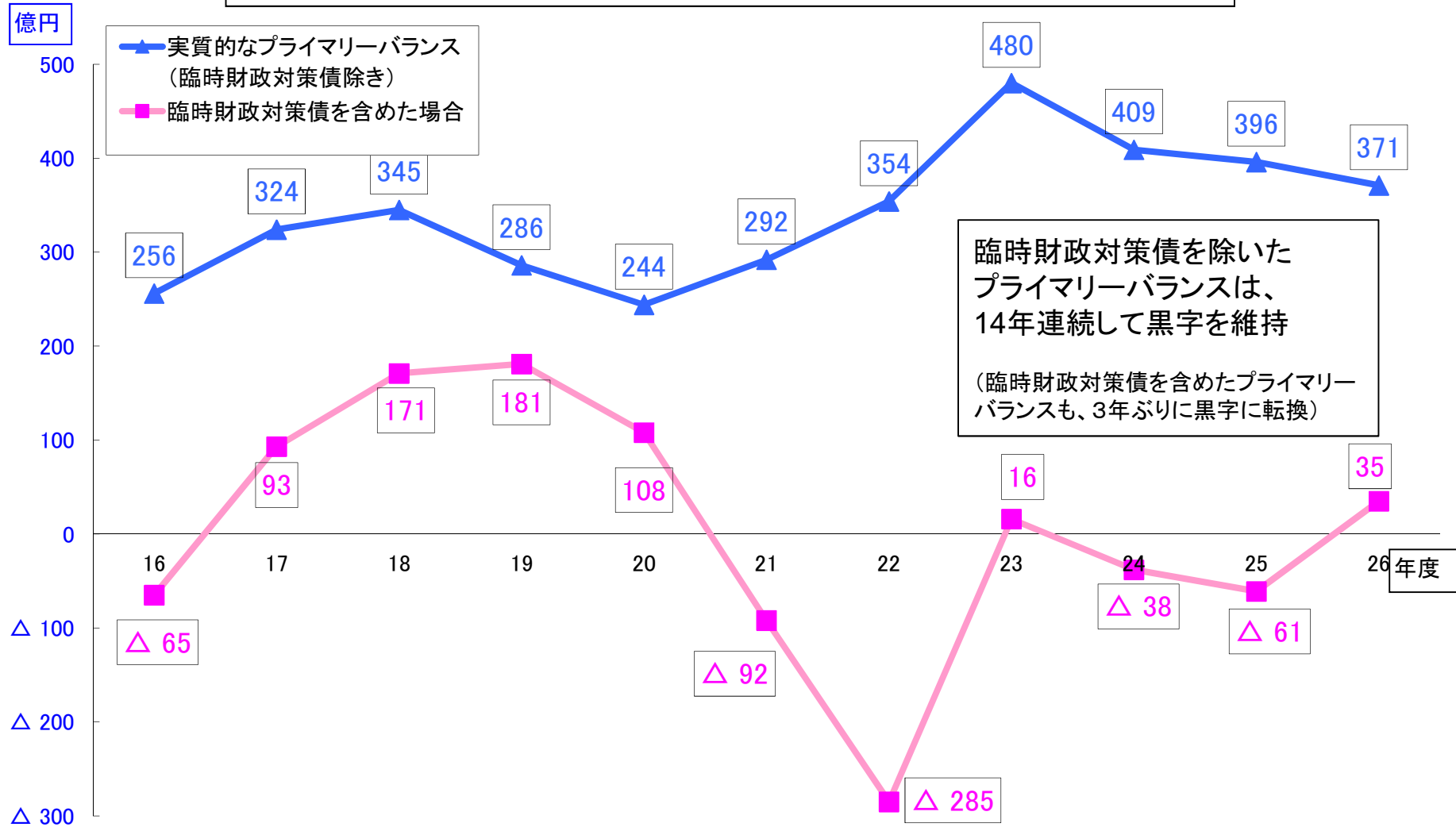
県債残高の推移



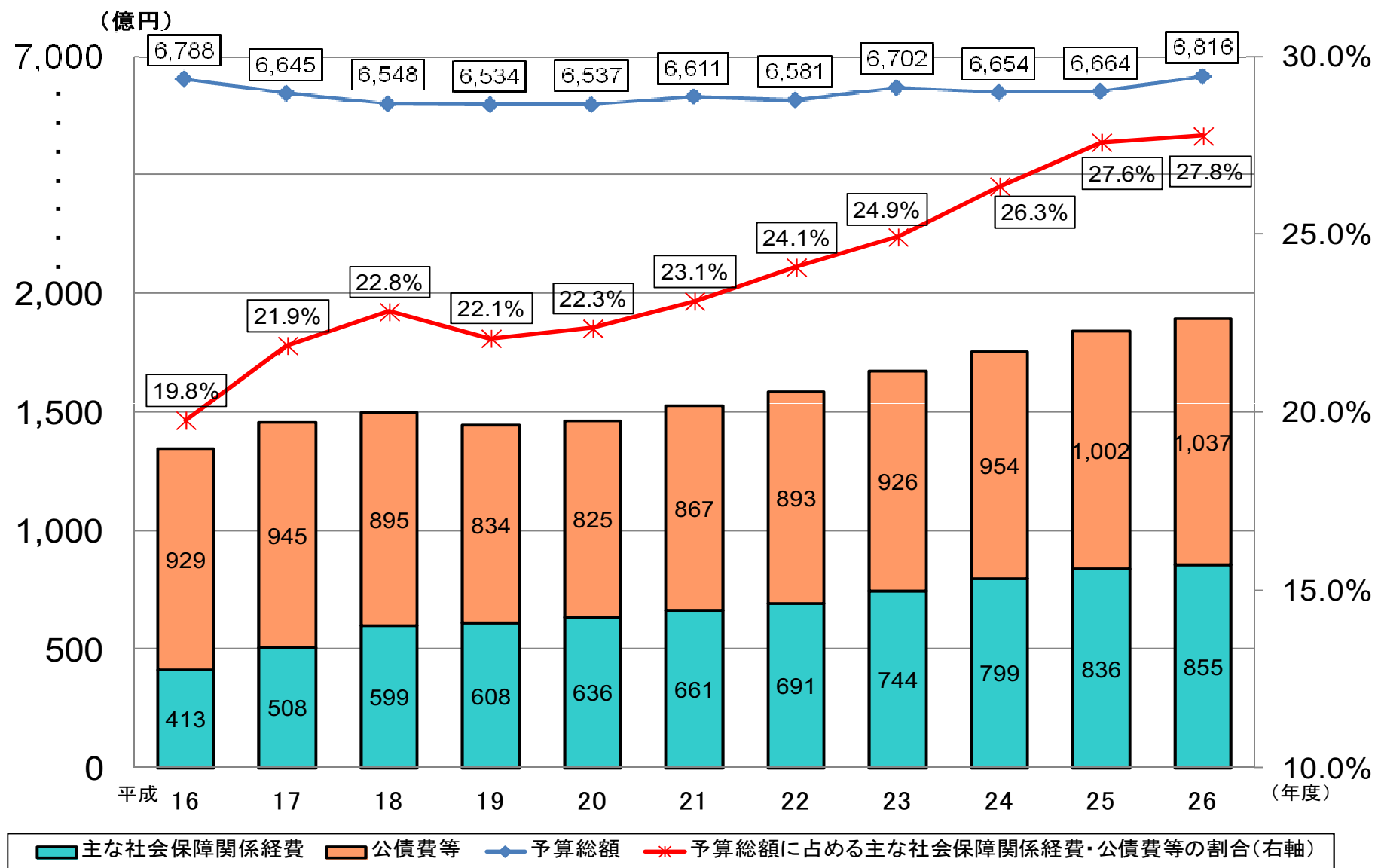
※H24年度までは決算、H25年度は2月補正後、H26年度は、当初予算ベース

プライマリーバランス(当初予算ベース)

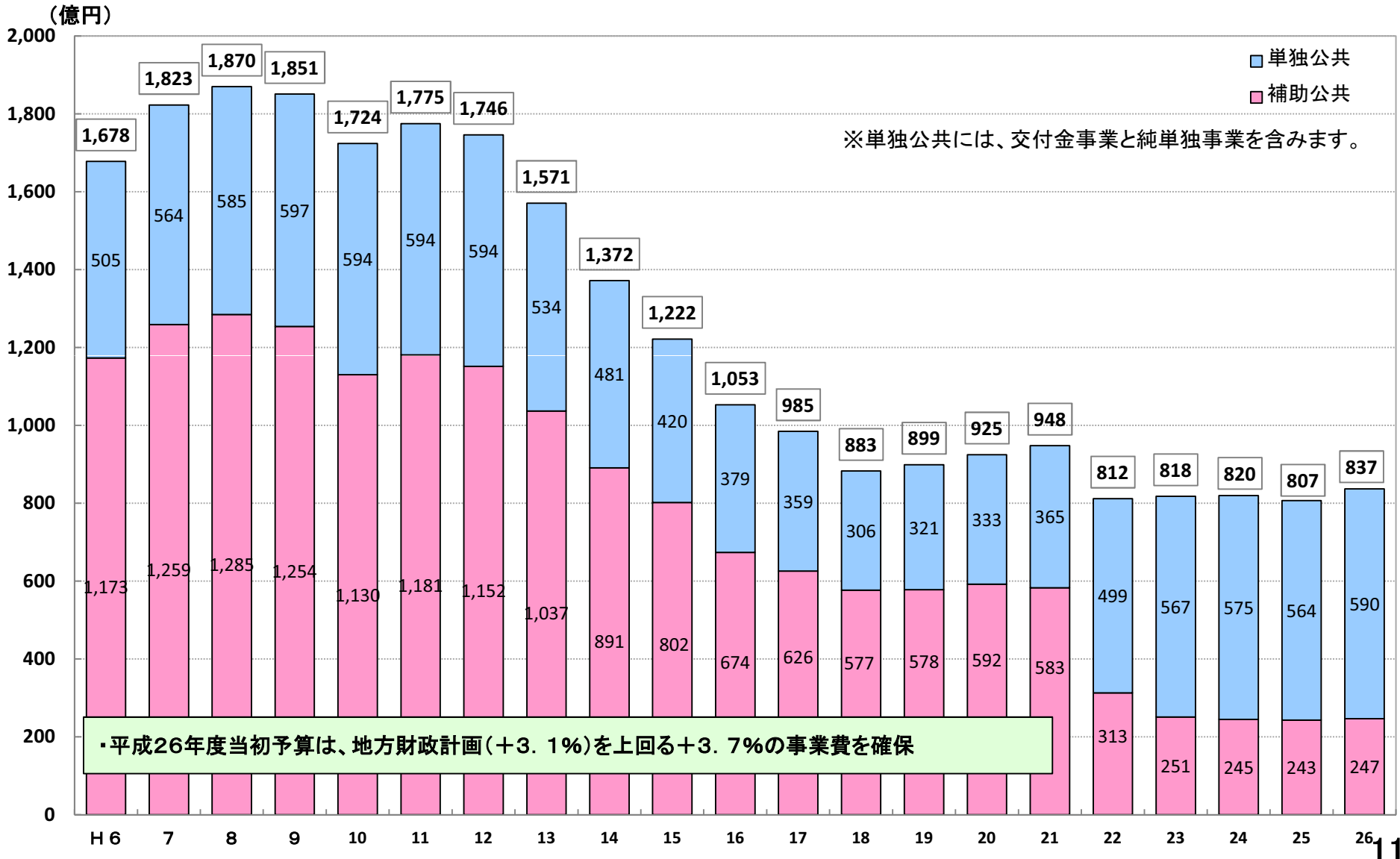
(歳入－県債)－(歳出－公債費)



主な社会保障関係経費・公債費等の推移



当初予算における公共事業費の推移 (一般会計)



はばたけ群馬プラン 3つの基本目標

- 1 地域を支え、経済・社会活動を
支える人づくり
- 2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり
- 3 恵まれた立地条件を活かした
産業活力の向上・社会基盤づくり

1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

①次代を担う人材づくり

- ・私立学校教育振興費補助(84億1,900万円)
- ・スクールカウンセラー全校配置(2億9,472万円)
- ・さくらプラン・わかばプラン(14億288万円)
- ・いじめ問題対策推進(392万円)
- ・特別支援学校整備(6億3,980万円)
(うち2月補正:6億2,200万円)
- ・第70回冬季国体開催(12億3,404万円)
 - ・平成27年1月から2月にかけて本県で開催される第70回冬季国体にかかる、国体選手強化のための助成、総合スポーツセンター伊香保リンク等施設整備、大会実行委員会に対する補助等

など



②高齢者が活躍できる社会づくり

- ・シニア就業支援センター運営(1,200万円)
- ・ぐんまちよい得シニアパスポート推進(100万円)

など

③群馬の飛躍を支える産業人材育成

- ・担い手への農地集積・集約化(8億7,640万円)
- ・新規就農者確保・就農促進対策(3億1,704万円)
- ・求職者総合支援対策(4億8,055万円)

など

④地域の安心を支える医療・福祉人材の育成・確保

- ・医師確保対策(3億3,622万円)
- ・介護人材確保対策(8,827万円)
- ・介護人材養成設備整備(1,000万円)

など

⑤人づくりのための仕組みづくり

- ・市民活動支援(7,426万円)

など

2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

⑥「医療先進県ぐんま」の推進

- ・災害医療コーディネーター等設置(210万円)
- ・救急医療情報システム等更新・統合(1,500万円)
- ・がん対策(2億6,082万円)
- ・歯科口腔保健対策(2,800万円)
- ・医療産業振興(1,224万円)
- ・心臓血管センターハイブリッド手術室設置(4億9,703万円) など



⑦誰もが安心して生活できる福祉の充実

- ・障害者リハビリテーションセンター再編整備(1億1,100万円)
- ・特別養護老人ホーム施設整備費等補助(13億5,446万円)
- ・生活困窮者自立支援(2,780万円)
- ・子ども医療費補助(40億1,160万円) など



⑧安全な暮らしの実現

- ・犯罪被害者等支援(ワンストップ支援センター設置準備)(60万円)
- ・DV被害者支援(385万円)
- ・動物愛護拠点施設整備(1億6,525万円)
- ・渋川警察署新築整備(20億5,295万円)

など



⑨災害に強い県土を築く

- ・旅館ホテル耐震診断補助(4,121万円)
- ・医療施設耐震化促進(600万円)
- ・県立学校耐震化推進(22億295万円)(うち2月補正:20億9,139万円)
- ・消防救急無線デジタル化推進(2億6,000万円) など



⑩誰もが安心して働ける労働・雇用環境づくり

- ・働く女性支援(140万円)
- ・若者就職支援(8,516万円)
- ・緊急雇用創出基金事業(33億2,048万円)

起業後間もない企業等への支援を通じた地域の雇用の受け皿づくりや、若者・女性等の人材育成等を通じた雇用拡大と賃金増等の処遇改善を推進。県・市町村が各種事業を委託して実施し、新たに1,000人分の雇用を創出。

など



⑪優れた群馬の環境を守り未来に継承する

- ・ぐんま緑の県民基金事業(6億2,245万円)
- ・住宅用太陽光発電設備導入推進(4億2,000万円)
- ・尾瀬入山口交通環境整備(746万円)
- ・尾瀬学校(8,500万円)
- ・有害鳥獣対策(5億5,651万円)
- ・汚水処理施設整備費補助(9億3,068万円) など

⑫地域住民の生活を支える「地域力」強化

- ・花と緑のクリーン作戦(4,200万円)
- ・地域力向上(2,400万円) など



3 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり



⑬はばたけ群馬の経済戦略

- ・コンベンション施設整備推進(9億3,390万円)
- ・ぐんまWi-Fiプロジェクト推進(120万円)
- ・農畜産物等輸出促進(1,700万円)
- ・企業誘致推進補助金(8億8,400万円)
- ・ぐんま新技術・新製品開発推進補助(7,000万円)
- ・産業団地整備(27億7,300万円)

など

⑭ぐんまのイメージアップ

- ・世界遺産登録推進(1億3,310万円)
 - ・ぐんまちゃんによるイメージアップ(1,730万円)
 - ・東国文化周知(725万円)
 - ・金井東裏遺跡出土甲着裝人骨等調査(3,439万円)
- など



⑮はばたけ群馬の社会基盤づくり

- ・7つの交通軸を強化する道路整備の推進(265億8,875万円)
 - ・ハツ場ダム関連事業(75億3,776万円)
 - ・中小私鉄等振興(2億7,664万円)
- など



平成26年度 重点施策

1 群馬県を躍進させる経済対策

2 世界遺産登録推進

3 特別支援学校の施設整備と職業自立

4 文化・スポーツの振興

5 ハツ場ダム関連

群馬県を躍進させる経済対策

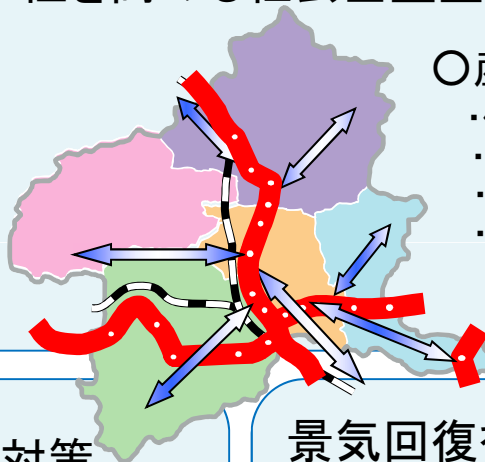
「7つの交通軸」や産業団地など社会基盤の整備を進めることで、立地環境の優位性をより一層高める。また、更なる成長を促す産業活性化対策や、景気回復を県内隅々まで行き渡らせる中小企業支援、雇用対策を通じ、県内経済の躍進を目指す。

優位性を高める社会基盤整備

○公共事業予算

837億円(H25当初比103.7%)
(H25年度当初 807億円)

- ・補助 247億4,165万円
- ・単独 589億5,835万円



○産業団地整備 27億7,300万円

- ・伊勢崎宮郷工業団地 8億 300万円
- ・多田山南産業団地 4億1,200万円
- ・新規産業団地(3地区) 15億2,800万円
- ・新規開発地点の調査 3,000万円

更なる成長を促す産業活性化対策

○次世代産業振興・企業誘致

- ・ぐんま新技術・新製品開発推進補助 7,000万円
- ・ものづくり企業海外販路開拓支援 1,260万円
- ・医療産業振興 1,224万円
- ・企業誘致推進補助金 8億8,400万円

○観光誘客促進

- ・ググッとぐんま観光キャンペーン 1,600万円
- ・千客万来支援 1億円
- ・台湾観光プロモーション 484万円

景気回復を県内隅々まで行き渡らせる 中小企業支援・雇用対策

○中小企業支援

- ・制度融資 融資枠895億円
- ・中小企業パワーアップ資金 融資枠40億円
- ・経営サポート資金 融資枠320億円

○雇用機会の拡大

- ・緊急雇用創出基金事業 33億2,048万円
- ・若者就職支援(ジョブカフェぐんま運営等) 8,516万円
- ・障害者雇用促進強化対策 8,550万円
- ・求職者総合支援対策 4億8,055万円

世界遺産登録推進

平成26年6月の「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を推進するとともに、4資産の適切な保存管理、普及広報等を実施。

世界遺産候補「富岡製糸場と絹産業遺産群」



富岡製糸場(富岡市)



田島弥平旧宅(伊勢崎市)



高山社跡(藤岡市)



荒船風穴(下仁田町)

【価値】

- ・高品質生糸の大量生産をめぐる日本と世界の相互交流
- ・世界の絹産業の発展に重要な役割を果たした技術革新の主要舞台

1. 登録審議・決定時の対応 1,700万円

- ・ユネスコ世界遺産委員会等での登録審議対応
- ・登録決定祝賀行事、記念イベント実施等

2. 普及広報 1,354万円

- ・ガイドブックやリーフレットの作成、ホームページのリニューアルなど、総合的に情報を提供。

3. 資産の総合的な保護と活用 1億7,926万円

- ・総合管理活用機構検討 2,475万円
世界遺産登録後の4資産の総合的な管理活用を行う組織体制や拠点施設の基本計画等を検討。
- ・環境整備特別支援 2,000万円
増加傾向にある見学者に対応するため、4資産所在の市町が実施する環境整備事業に補助。
- ・構成資産周辺環境整備 8,300万円
各資産周辺の県道の拡幅や交通誘導看板の設置など
- ・文化財保存事業費補助 2,786万円
- ・解説指導員の配置 2,350万円 など

4. ぐんま絹遺産ネットワーク 630万円

- ・絹産業に関連する文化財などの「ぐんま絹遺産」登録や保存活用

特別支援学校の施設整備と職業自立

○特別支援学校に通う生徒・保護者の負担を軽減するため、多野藤岡地域、吾妻地域に特別支援学校を整備し、未設置地域を解消する。

○特別支援学校生徒の職業自立を推進するため、就労支援の充実を図る。

特別支援学校整備

- ・榛名養護学校吾妻分校(仮称)施設整備 6億2,200万円
平成25年度2月補正で整備。(平成27年4月開校予定)
- ・みやま養護学校藤岡分校開校 1,780万円
多野藤岡地域に特別支援学校を新設。平成26年4月開校。

など

榛名養護学校吾妻分校(仮称)完成イメージ



特別支援学校生徒の就労支援

- ・特別支援学校生徒の職業自立推進 1,105万円
職業自立の推進のため、就労支援員の配置や体験型就労研修会等に加え、高等部1年生を対象とした進路ガイダンスや企業採用担当者向け学校見学会、卒業生の就労定着支援を新たに実施。
- ・障害者就労サポートセンター 8,550万円

県庁内に総合支援窓口を設置し、県庁や県の地域機関において特別支援学校生徒の職場実習受入れを実施するほか、学校・生徒の要望に応じた就職先の開拓などを実施。

など



文化・スポーツの振興

- ・東国文化を全国に発信するとともに、県民参加による文化芸術の振興を図る。
- ・本県での冬季国体開催を契機に、県全体でスポーツの振興に向けた取り組みを強化する。

東国文化発信：6,531万円

本県の古墳などの歴史文化遺産の価値を、広く県民に周知し、その情報を全国に発信

- ・金井東裏遺跡出土甲着裝人骨等調査：3,439万円
- ・東国文化副読本作成：254万円
- ・古代東国文化サミット開催：252万円
- ・上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会設置：65万円
- ・東国文化国際シンポジウム開催：50万円 など

冬季国体開催：12億3,404万円

H27年1～2月に本県で開催される冬季国体において、競技を安全かつ円滑に実施するとともに、本県選手が好成績を収められるよう選手強化を支援

- ・大会運営費：4億2,250万円
- ・施設整備費：7億7,800万円
- ・選手強化費： 3,354万円



文化芸術振興：1億7,097万円

①ぐんま総合芸術推進 4,981万円

オペラ・歌舞伎など、県民参加による文化芸術の振興を図るため、4カ年計画で総合的に事業を実施。

②県立美術館・博物館企画展示 1億2,116万円

近代美術館で開館40周年記念展を開催するなど、県民に魅力的な企画展を開催。

スポーツ振興：2億3,969万円

①フルマラソン実施準備 615万円

県民の要望に応え、H27年11月のフルマラソン開催に向けた準備を進める。

②競技力向上対策費 2億3,354万円(一部再掲)

国体などの全国大会で本県選手が活躍できるよう、各競技団体が実施する強化対策に助成。

ハツ場ダム関連

地元住民の現地生活再建に向け、基幹施設、産業基盤等の整備を進めるとともに、生活の安定と福祉の向上を図るため、水源地域対策の促進を図る。

ハツ場ダム関連事業(62億6,469万円)

- ①生活再建に向けた取り組み(52億8,585万円)
〔長野原草津口駅駅前テナントの整備、温泉宿泊助成事業などの生活再建、地域振興のための事業を実施〕
- ②付替道路及び周辺インフラ整備(9億7,884万円)



ハツ場ダム関連負担金 (12億7,307万円)

- ・ハツ場ダム建設費負担金(9億4,900万円)
- ・水源地域整備事業負担金(2億7,256万円)
- ・ハツ場ダム基金事業負担金(5,151万円)

政策課題に対応した組織の見直し

はばたけ群馬プランを着実に推進するための執行体制を整備

平成26年度 組織改正の概要

鳥獣被害対策の体制強化

- ・鳥獣被害対策を統括する参事(部長級)を設置
- ・特定鳥獣適正管理計画業務を環境森林部から農政部鳥獣被害対策支援センターに移管
- ・捕獲を推進するための職員を増員

「コンベンション推進課」の新設(企画部)

- ・コンベンション施設の整備、コンベンション誘致を推進する体制を整備

「スポーツプロジェクト推進室」の新設(生活文化スポーツ部スポーツ振興課)

- ・フルマラソンの開催(平成27年11月予定)準備
 - ・東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地誘致活動
- } 取り組み体制を整備

「建設業対策室」の新設(県土整備部建設企画課)

- ・建設産業における若手技術者確保等に取り組む体制を整備

振興局の設置(県民局の見直し)

市町村合併の進展や中核市・特例市の誕生に伴い、地域の実情に応じた地域振興事業推進体制を整備

◎ 5県民局を、7振興局に再編



振興局設置図